

愛媛大・県内企業開発の健康食品

「e a t e c h」

ロゴマーク発表



健康食品の開発を目指す愛媛大と県内企業の研究協力会「食品機能研究部会」のメンバー

ーによる新組織「eatech（イーテック）」が10日発足し、松山市樽味3丁目の同大農学部で、産学連携で開発した商品に付けるロゴマークの写真を発表した。

ロゴマークはオレンジ色で、商品群のブランド名でもある「eatech」の文字と、産学の連携や産業の循環をイメージした楕円（だえん）などを組み合わせている。大学教員や企業関係者でつくる運営協議会が、科学的効果が証明されているかなどの観点から審査、使用を許可する。

同日はイーテックに参加する県内5社が、青汁の原料ケールのサプリメントやホワイトソルガム（白高きび）のチップスなど、ロゴマークが付けられる約10品について健康への効果などを説明した。

続いて、イーテック運営協議会幹事の菅原卓也・愛媛大農学部准教授が、医学や社会科学を絡めた総合的な食品解析や、機能性食品を多く含んだ植物の有機栽培法開発など、総合的な食品科学研究拠点の構想を述べた。

（杉本賢司）